

第6回 和東町第5次総合計画審議会

議事録

日時：令和3年8月24日（火）

1部：午後3時00分～午後3時55分 2部午後4時00分～午後4時15分

場所：和東町社会福祉センター大ホール

出席者（審議会13名）

町長：堀町長

出席委員：藤井委員、濟藤委員、荒木委員、村田委員、井上委員、姫野委員、西田委員、
奥委員、村城委員、吉田委員、岡田（文）委員、盛上委員、湊委員

欠席委員：中川委員、岡田（周）委員、大西（隆）委員、大西（研）委員、北委員、
西村委員、澤委員

事務局：岡田課長、宮木担当課長、（株）ぎょうせい3名

【配布資料】

【資料1】 第5回和東町総合計画審議会 ご意見に対する計画（案）の見直しについて

【資料2】 第5回和東町総合計画審議会の意見を踏まえた計画書変更箇所抜粋

【資料3】 和東町第5次総合計画（案）及び第2期和東町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に
関するパブリックコメント手続きの結果について

【資料4】 第5回和東町第5次総合計画審議会議事録

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 議事

（1）報告事項

第5回和東町第5次総合計画審議会における議事録等について

会 長：報告を受けてご質問あるか。
委 員：意見なし。

(2) 協議事項

(1) 和束町第5次総合計画（最終案）について

- 会 長：説明を受けてご質問あるか。
- 上 嶋 委 員：資料1の No. 6 のプロジェクトチームの設置はいつぐらいを想定されているのか。
- 事 務 局：事業の予算を確保する必要があるため、実際の設置は来年度以降になるが、事前にできる準備に関しては、計画策定後すぐに関係者と体制づくりや、近隣市町村等と検討を進めていく考えである。
- 濟 藤 委 員：次を見据えていないと今までと変わらない形となるので、委員をはじめ住民等が前に進んでいる実感できるスピード感で進めてもらいたい。
- 岡田（文）委員：トンネル開通が3年後に迫っている中で、プロジェクトチームの設置が来年度からとは遅すぎると思うが、どのように考えているのか。
- 事 務 局：具体的な事業実施に向けた予算確保は来年度となるが、住民や関係者等へのヒアリングなど、予算をかけない取組・準備はスピード感を持って進めていく。
- 岡田（文）委員：予算を付けなくても会議を重ねることはできるのではないか。
- 事 務 局：まずは、環境整備に向けて課題を抽出することが必要であると考えている。庁内でまず検討を重ね、来年度からすぐに動ける体制づくりを進めていく考えである。それに伴い、委員の皆様からもご意見いただくなどご協力をお願いしたい。
- 木 村 委 員：最終の会議なので全体的には賛同とするが、資料1の No. 1 と2について、No. 1 の教育の充実では、「学社連携したキャリア教育」と見直ししていただいたが、内容は教育委員会の事業の充実となっているので、移住定住に繋がる内容にはなっていないと思う。すぐでなくてもよいので、生涯学習の観点から、行政から思い切った施策を進めていかないとダメだと思う。後期の見直しのときは、思い切った施策を入れてほしい。No. 2 の林業の施策の見直しについて、林業をどのように再生していくかが弱い気がする。後期基本計画では自然循環（サステナビリティ）によるコンパクトな林業の構築を計画の中で示して、どのような具体事業を示すのかを創生推進会議の中で検討していけるとよい。これまで3年間林業促進協議会の林業モデルに関して、仕組みづくり等を考えてきたので、後期では反映していけるとよい。
- 会 長：今の意見は、今後戦略会議の中で検討していただきたいということによいか。
- 木 村 委 員：その通り。
- 会 長：意見なければ、原案としてはこの内容で良いか。
- 委 員：異議なし。

(2) 和東町第5次総合計画に係る答申書案について

会
会

長：説明を受けてご質問あるか。

長：先日、濟藤副会長、事務局と答申案を作成するにあたり、「6 計画の実効性を・・・」を追記した。まち・ひと・しごと創生推進会議において、毎年評価しつつしっかり進めていくことを念頭においた内容となっている。

濟藤委員

：戦略の話し合いだけでは、前に進まない。住民が、「協力して良かった、もっとやればもっと進めると」いった実感が持てるような想いを込めた。

会

長：他になければ、この答申案をもって8月30日に町長へ答申する。

4. その他

会

長：合計6回の審議で、慎重な審議または活発な意見ありがとうございます。皆さまのご意見を上手く引き出せたかはわからないが、たくさんのご意見を反映した総合計画となった。皆さまの和東愛を感じた計画策定であった。このような会議を通して、町の課題が見えてくるが、これには答えはないかもしれない。ただ「産業振興、地域コミュニティ、教育」が基本となると考えられる。産業は和東町には「茶」がありこれを発展させることは大事なことだが、もう一つ基盤になる産業があると良いかもしれない。地域コミュニティでは、町で誰かが活発に活動していることが住民を後押しして、そういう雰囲気広がると良い。教育については、町史編纂の編集に携わっているが、歴史は調べるだけでなく、地域の成り立ちを共有することで、ふるさと愛にもつながると考えられる。さらに町史編纂もまとめるだけでなく、教育に活かしていくことが必要。5年後また後期基本計画に向けて検討に入る際には、また皆さんと良い議論がしたい。

町

長：合計6回に渡ってご審議いただいた総合計画をしっかりと活かして、まちづくりを進めていく。委員の皆様にはこれからもまちづくりに対して、ご意見ご指導等いただきたい。

5. 閉会